京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年紀元二千五百七十年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵稅一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所 京城新報社

雜報

將來の朝鮮米

朝鮮農業の現狀に於て比較的實行し易くして利益多きものは稻種子及米穀調製の改良なり農商工部勸業模範場に於て數年試作の結果品質收量共に優良にして南方地方に適當なりと認められたる水稻早神力の如きは昨年各地に於て栽培せられたる成績を綜合するに一反步の玄米收量早神力二石一斗四合にして在來種は一石五斗七升五合にて即ち早神力は五斗二升九合籾にて八斗二升の增收なるが籾一石を四圓として計算すれば三圓廿八錢の利益となれり群山市場の近況に依れば日本種改良玄米（米質良好にして混砂なきものを云ふ）の市價は在來玄米の市價に比し平均一石に付一圓乃至二圓の判高を示せり依て一面に於ては是等良種の栽培を普及せんが爲め勸業模範場、同場出張所及各種苗場は每年改良種子の無代配付を行ひつゝあり現今各地の實況より推定する時は此の改良種の播種總數量は本年に在りては少くとも五百石に達すべし今是より生ずべき利益を打算するに假りに其作付反別を六百二十五町步（從來の習慣に從ひ一反步に種子八升を播下するものとす）とせば一反步に付平均籾八斗二升宛の增收は合せて五千百二十五石の增收即ち二萬圓の利益となるべき計算なり但前記增收步合の調査は專ら三十有餘名の日本人農事經營者の栽培成績に依りたるものなるを以て朝鮮人が事實悉く右計算通りの增收を得るものとは速定し難きも要するに相當の利益を收め得ることは明白なり如何にして改良種子の普及を圖ると同時に一面に於ては從來調製の方法不良なる爲起る混砂米の弊を改良せしめんが爲農商工部は一昨年及昨年の二回に多數の改良稻扱器、製莚機、製繩機等を各地に無代配付し續て稻扱傳習會の開催を奬勵して專ら其の使用普及を圖りつゝありされば朝鮮米品質の改良及生產額の增加は近き將來に於て大に見るべきものあらん

●全南地方の養蠶業

△將來は全道第一△

全南に於ける各蠶業傳習所推蠶共同飼育所に於ける養蠶の成績は頗る良好にして桑葉は稀れに改良桑を供用するもの無きに非ずと雖も栽桑日尚は淺く且つ數量寡少なるを以つて供給充分ならず故に在來桑の供給を附近農家に仰ぐもの少なからず一般農民は此種農業機關設立されたるの地方の爲め有利なるを覺り居れり勸業模範場觀察道及光州種苗場等より配布せる桑苗は何れも能く生着せり然れども耕耘施肥充分ならず中には全然無肥料のものある成育良好ならず在來桑は大概家の田圃に點々栽植せるも繁茂良好ならずと雖も改良を施し剪枝をなし耕耘施肥其の宜しきを得たらんには相當の收獲あるべく改良策を講ずる一方に改良桑の栽培をなし桑葉の供給を潤澤ならしむる必要あり然して一般農家の蠶兒を觀るに在來種の蠶兒は病蠶斃蠶を出すこと多く成績頗る健全に經過不良なり如此在來種の成績良好ならざる爲め桑葉の供給豐富なるを致せり改良種獎勵上實に好期なりと云ふべし殺蛹乾繭は各種傳習所は勿論推蠶共同飼育所に於ては一般日本式に依り農家は曝露法に依るもの如し其の生產繭は一部蠶種製造製絲用に供すると雖も大部は日鮮人商人に販賣し或は地方金融組合に於て買收の道を講ずるあり各地同一ならず將來交通の便備はり飼蠶改良せらるゝに至らば全國中第一の養蠶地たるべし

●馬山灣内の千葉村

千葉縣の出漁に係る馬山灣千葉村は三十九年創設以來每年縣の補助金を給與せられ着々改善の域に進みつゝあり其の位置は馬山灣口に接し最も安全なる地點を占有す而して該地は以前露國の租借地なりしが目下千葉縣朝鮮海漁業團之を經營す、最初の創設は明治三十七年十一月千葉縣水產組合に於て朝鮮海漁業視察員を派遣したる報告の結果に依り翌三十八年三月經營者手家屋八棟（建坪百〇五坪）を建築して同年五月移住を開始せり當時に於ける漁業團の出資は二萬圓にして三十九年度迄に漁民百三十二名（内男百六、女二十七）を移住せしめたり、然るに移住當初は氣候に和せず風土に馴れざる爲めか脚氣病患者其他の病者を出し中には不幸の最後を觀たるものさへあり、而して其の衛生防護の方法に就ては非常の苦心を要したりしが漸次健康狀態に進み來りて今日にては移住者も大に安心するに至り漁業者移住根據他の模範として大に發展しつゝありと

◎新刊紹介

▲英語青年　二十四卷一號十月一日發行（東京本鄉區丸山新町二九其社、一部七錢五厘）
▲成功　十月號（東京本鄉區弓町一ノ一其社一冊十六錢五厘）
▲エー、ビー、シー　十月號（東京本鄉森川町一東西社五錢）
▲韓國中央農會社　四卷六號九月廿五日發行（京城大和町二同會一冊十二錢）

講談

大岡政談 越後傳吉

第九十五回　旭堂南陵講

越前殿此時大喝一聲　越「控へ居ろーッ其方等兩名の申立一々曖昧なる申立である、前後不釣合のこと多し、庄左衛門、早兩名に繩打て」役「ハッ」と答へて役人バラ〜と立上つて來ると、アッと驚いてゐる庄左衛門お早の兩名に繩を掛けました、二人は吃驚、只呆氣に取られてゐる、甚右衛門三右衛門が　甚「なア、これでなくちアならねへぞ」三「このお奉行樣は賢い人だ」役「馬鹿ッ控へをれ、餘計なことをいふな」二人「ハイ〜」　越「庄左衛門早兩名吟味中入牢申付くる、伴右衛門、其方調べ筋について吟味の筋有之、江戸留守居役山中淸左衛門に渡し、主人預けを申付ける、一同の者皆立ませい」到頭黑崎伴右衛門いよ〜惡くなつて參りました、戸田家の留守居山中淸左衛門を呼出して此者に相渡し、主人へ渡した預けといふことになる、庄左衛門、お早の兩名は繩を打れて傳馬町の御牢内へ送られる、これで甚右衛門三右衛門、中村屋與兵衛、お仙共に聊か胸を透してヤレ〜と思つて立戻つて參りました　三「何うだい甚右衛門どん」甚「ハア」三「これで小旦那が段々良くなつて來たぞ、庄左衛門にお早婆の二人が取ッ捕へられて御牢内へ入つた時には好い心持だ」甚「さうだ、今考へて見ると庄藏お梅は死んだんでねへぞ、生きてるに違へねへ」三「ソレ〜生きてるに違はねへだ」もうこれで甚右衛門、三右衛門にまで庄藏お梅が生きてるだらうといふ氣が注くらゐ、流石は越前殿一々お調べ上げになつて參りました、南部の一條院金貸附所といふ看板を掲げて淺草田原町に木幕金太夫といふ者がある、この倅金之助が傳吉が近藤卜齋の方で出會ふたといふ廉がある、越前これを調べねばならぬ、直にお差紙、家主の方からお差紙が着くと木幕金太夫はイヤどうも太息を吐いた家主が吃驚して金太夫の方へ步つて來て　家「何うしたい木幕殿、お前とこの倅金之助が明日お呼出しだ、私の差配の方から役所行きの者が出たいのだが、何か覺ねがあるやうだつたら一寸私の耳に入れといてくれぬか、又その考へがあるでな」金「ハイ何うも有難う存じます、ハイ金之助一寸來い」之「マアお父つアん何だい」金「マア何うも大家の旦那の前でございますけれども、私等とこの金之助といふ奴は何といふ奴でございませう、親ながら呆れ返りました、このくらゐ又親に苦勞を掛ける奴はございません、マアお差紙が着いてから私が能々と調べて見たんです、大家の旦那もマアいつてお問ひだ、マア旦那聽いてごらんなさい年頃になつて參りましたから相當な嫁を貰ふてやらうと思ひまして、餘計な身上はございませんがマア庇蔭さまで彼方此方交際をして居りますから、彼方此方の相當なお宅から結構なお孃さんをやらうといつて下さる、ア、結構なことぢや、嫁に貰はうとすると、見合をして、ヤレ彼の女は鼻が低いの、鼻が高過ぎるの面が醜いのと色々なことをいやアがつて、顔の造作を見て皆嫌がります、どんな女をば女房に持つかと思ひますとお前さま、吉原の三浦屋で可祝といふ女の小指をば大切さうに守袋に入れて持てをります、毎晩のやうに三浦屋の方へ通ひ詰めるのは、この可祝といふ女が命までもと惚込んだので、汝に氣に入つた奴なら落籍して女房にしろ、その代り親に不幸をしてはならぬと斯ういつて馬鹿々々しい話しですが、親の方から仰山な金を出してマア落籍をしました、結構なお孃さんと見合をして他人樣の娘さんの顔の造作をいつた奴、どのくらゐ美い女を引張つて來るかと思ひますとねマア面は兎に角大きな身體です、話しに聞いて見たら三浦屋で身體が大くてお相撲といふ綽名が附いた女ださうでお相撲可祝といやア人も知つてるといひます、マア〜仕方がねへ、こんな大きな女でも野郎が氣に入つたからそれまでと思つて家へ置きました、ところが手に取るな矢張り野に置け蓮華草、あゝいふ稼業をした者は吉原へ置ときやア宜うございますが、家へ連れて來まして堅氣の女房にすると駄目です、ア此所や彼所が痛出して來ました、梅毒です、娼妓をして居る時分に受けた病氣、サア仕方がございませんから草津の温泉へもやつたら宜からうといふので、マア金之助を附けまして草津に入湯にやりました

東京電報

▲葡國革命と公電

（在葡加藤大使發八日外務省着電に依れば左の如し）[illegible]

▲葡新政府の宣言

（葡京電報）[illegible]

▲臺灣總督の留任

（臺灣電報）[illegible]（同上）陸軍大將 佐久間左馬太 [illegible]

▲關釜海底電線

（釜山電報）[illegible]

▲軍艦補充の計畫

[illegible]

▲外相辭表提出

[illegible]（同上）

▲英國と關稅問題

[illegible]なりと云ふ（同上）

▲朝鮮總督と議會

[illegible]に過大なる權力を委托したるは議會の法律制定權を無視したるものなりとの議政黨間に起り國民黨は近々政務調査會の議に附する事となり政友會又朝鮮調査會の議に附するの一問題たる不當を鳴す聲高く今議會の一問題たるは免れず特に注意すべきは政友會の態度にして昨今少壯議員間の鼻息荒く啻に今回の朝鮮總督のみならず遠く明治廿三年法律第八十五號閣令府縣令各省令警視廳令臺灣總督府令に一年以下の禁錮若くは二百圓以下の罰金科料を附與せるを根本的に改正する意見にて調査會の議を進め目下の形勢にては政府不信任を問ふ迄に漕付くべきも幹部は果して此勇斷に出るや疑問に屬し議會開會前少壯派と幹部間に一大波瀾を免れずと觀測さる（同上）

▲救恤公債の規定

日露戰役個[illegible]を以て右規定發布せられたり（同上）

▲新華族叙位標準

有爵者及び其嗣子並に在官の朝鮮人に對し夫々敘位の御沙汰あるべく目下調査中なり侯爵は從二位伯子男爵は從五位

伯林電報

▲大統領と英公使

（葡國）新大統領セニヨルブラガー氏は英國公使と長時間に亘る會見をなし新共和國は英國に對し深厚なる尊敬を拂ふと同時に友誼的政策を以て國民統治に當るべしと言明せり（十一日）

倫敦電報

▲露獨皇帝の會見

（伯林）來電によればフォンチッヒユ、ツワイツングの所報により露國皇帝陛下は本月末日を以て獨逸皇帝陛下と會見する筈なりと云ふ（同上）

府民大懇親會盛況

▲會衆五千四百餘名

京城府民大懇親會は豫定の如く九日午後二時景福宮に於て開催されたり會する者官民無慮五千餘日鮮人の會合として未曾有の盛況を呈せり左に其の狀況を報せん

▲會場の設備　隆武堂前一帶の芝生を會場となし其周圍に三十餘ケ所の模擬店を設け軍樂隊あり藝妓舞臺あり妓生舞臺あり隆文堂前式場の一隅に貴賓食堂を設け萬國旗を縱橫に交叉し幔幕を張る等見るから壯觀を極めたるのみならず救護所の設けもあり案內圖を會員に交附するなど用意周到せり

▲會衆五千餘名　秋晴の空高く澄める午後一二時の頃には光化門前より秋成門を經入場するもの絡繹として絕えず開會前既に五千四百餘名と注せられ隆文堂に設けられたる來賓席には山縣政務總監大久保軍司令官代理を始め李完用、朴齊純、趙重應氏等の朝鮮貴族明石警務總長、藤田軍醫監其他の高官綺羅星の如くに居並びたり

▲式場の光景　午後二時三十分數發の煙火空に轟き爆竹會場に響けるを合圖に一同式場たる隆文堂の廣場に集合するや委員總代として古城氏は開會の辭を述ぶ其要に曰く「韓國併合の結果新官制は十月一日より實施され文武を統轄する總督を戴き東半島の臣民を綏撫せしめらるゝに到りたるは實に同慶の至りに堪へず而して吾が京城は總督の駐在地として半島政治の中心なれば茲に在住する吾々府民は一層重大なる責任を自覺し宜しく和衷協同以て上聖旨に應へ奉らざるべからず故に茲に懇親會を開き尙は年々之を催して相互融和の目的を達せんと欲す」と次いで來賓趙重應子の演說ありたる後山縣政務總監亦起ち謹嚴なる態度を以て「諸君今日は併合後始めての懇親會を催されまして茲に御招ぎを忝ふしましたのは誠に欣喜の至りに堪へません思ふに府民諸君が今日此大懇親會に於ける心を以て將來も渝らずば國家の福利を增進し得ん事疑なきを信じます茲に一言將來に希望を屬しますと共に聊か御禮を申述べます」と演べ其の着席するや古城民長の紹介により伯爵李完用氏隆文堂の階段に立ち　天皇陛下萬歲を三唱し衆之に和し夫より軍樂隊の君が代の演奏ありて式を了へたり

▲餘興●模擬店　當日の餘興としては「韓童の綱渡り」「舞童」「朝鮮古代の音樂」「妓生の舞」「藝妓の手踊り」等何れも開會以前より大人氣を以て迎へられ殊に朝鮮古代音樂の如き四十一名の黃衣黃冠の一隊が會場に蛇行し來りたる時は見慣れざる內地人の目を瞬らしめ妓生舞臺、藝妓舞臺も始終人山を築きしが又模擬店の賑ひは格別にて開始前既に品切と成りたるあり式後は勿論大繁昌を極めしが何れも十二分の歡を盡し夕陽に紅顏を照らされ歸路に就きたるは午後四時過ぎなりき

▲眞に喜ばしき會合　眞に文字のまゝの懇親會なりき[illegible]觀光團員に[illegible]模範店の前に[illegible]もありきアナタモワタシと[illegible]本語を解せざる半島人[illegible]が內地人と間違へられ[illegible]り話しかけられて困じ果て[illegible]もあるなど見る目樂しく[illegible]

大觀光團と入京

鐵道院中部管理局主催に關る朝鮮觀光團二百三名は豫定の如く九日午前六時六分南大門驛着特別列車にて入京したるが着前府民代表者十餘名は龍山驛まで之れを迎へたり同一行が南大門驛に着するや豫ねて用意したりし府民は之れが歡迎の意を表せんが爲め米倉町高地に於て歡發の煙花を發揚し府民有志は夫れ／＼停車場に出迎ふれは觀光團一行は團長潮田方藏氏を先頭に下車し團長は出迎者に對して一應の挨拶を爲したる末一行は七時腕車を連ねて各其宿舍に投じたり

▲大懇親會臨場　午前十時觀光團一行は再び旅館を出發し倭城台本願寺別院前に集合し夫れ／＼案內者に就いて同公園總督府其他漢陽公園を巡覽したる末萬千閣に晝餐を喫し少憩の後午後一時半車を驅つて大懇親會場なる景福宮に向ひたるが會場に臨席する前同宮慶會樓に休憩し同樓上にて茶菓の饗應に與りたり席上前農商工部大臣趙重應子は一同に對し昨年上京當時の厚情を謝し且つ其謝禮を爲す筈なれども當朝鮮は內地の如く未だ人文發達し居らざるを以て意の儘に謝禮する能はざるは甚だ遺憾とする處なりと云々と述べ次いで當商業會議所副會頭立ちて歡迎の辭を述べ最後に團長代理として宮川氏、謝辭ありたるが茲に府民と歡光團一行の挨拶終るや一行は直ちに別項記載の大懇親會に臨席したり當日の觀光團は斯くの如くにして午後四時過ぎ夫れ／＼宿舍に歸りたり

▲滯京中の一行　觀光團一行は十日午前九時より隨意巡覽をなし鐵道局の案內及び商業會議所より贈りたる京城概況に基づき或は園藝模範場或は東亞煙草會社等を巡覽したるが潮田團長外二三の人を除きては何れも元氣旺盛にて巡覽し居れり尚ほ十一日は昌德宮の拜觀を爲す筈なり

中樞院と辭令授與

寺內總督は十日午前十時より中樞院議長顧問以下贊議副贊議を官邸に召集し辭令授與式を擧行したり今其の模樣を記せば顧問李完用伯爵を始め朴齊純、趙重應、李容植、任善準の各子爵其の他六十餘名は馬車又は腕車を驅りて定刻前總督邸に參集したるが總督は十時半一同に對し本日辭令を授與する旨簡單なる挨拶を爲し尚山縣新任議長を一同に紹介し次で山縣議長は就任の挨拶を述べ正午終了退散したり[illegible]長は病氣[illegible]以て李完用伯代[illegible]辭令を受けたり

新貴族と恩賜金

今回朝鮮貴族に列し夫れ／＼敘爵の榮典に浴したる諸氏は同時に多額の恩賜金を下賜されたる由なるが其額は侯爵は孰れも王族の懿親たる關係上二十万圓宛伯爵李完用氏は特別の思召を以て十五万圓前各大臣は十萬圓宛金允植子以下の中樞院顧問は五万圓にして其他の人々は功績により二万圓乃至三萬圓宛御下賜相成りたりと云ふ

寺內總督の歸東

寺內總督は就任以來併合の大業を遂行し新官制發布と共に統治上民心の意嚮も推知するを得華族敘爵の恩典も終了したるを以て一先づ此際歸朝の上陸軍省にだける總督の處理す可き事務を整理する要あり遲くも來る十七八日頃には出發歸朝せらるゝ豫定にて家財の如き大半取纏め發送されたりと

總督の纛島巡視

寺內總督は九日午後一時出郵管野、津野兩中佐、藤田大尉を隨へ纛島勸業模範場に赴かれしが是より先き木內農商工部長官、菊地殖產局長、中村技師は同所に至りて總督の來場を迎へ久次米場長の案內にて場內を委細視察せられ午後三時半出發同四時廿分歸邸せらる

併合後の產業振興策（未）

馬山府尹　三增久米吉君談

併合後に於て產業振興を圖るの最も大切なることは貴紙聞と同論である、過日來貴紙に載せられたる諸名士の產業振興策は叮嚀に拜見してゐますが、自分の意見も大体に於ては貴紙の發表したる諸名士の意見と異ふ處は無い處が自分の如き常に田舍に引籠り居る者が名士扱をされて、貴紙から意見を徵せらるゝのは甚だ名譽とは思ふが實は迷惑にも感ずる、併し折角のお尋ね故一二心づきたる事を述べて自分の責任を塞がうと思ふ、先づ何事を措きても產業の振興上、急速に實行せざるべからざることは交通機關の改善及新設に在るのは諸名士の御說の通りであるが、唯、茲に自分が常に考へてゐるのは、第一に貴紙の謂ふ所の產業道路を造るといふことに一致する、之れを具体的に云へば鐵道を脊髓と見て肋骨に相當する道路を造るのだ、而して兩者を連絡せしめ、停車場所在地を[illegible]集散場とするのだ、第二道路が出來れば勿論運輸交通の便を增し[illegible]地方產業の發達を誘起するのである、地方によりては百尺竿頭一步を進めて輕便鐵道を敷設したい、而して是亦幹線と連絡せしむる、何れは道路を先きにし次ぎ輕便鐵道敷設などゝなるべき順序であるが、急速なる時勢の進運は斯る重複なる手數を省くを可とする地方がある、夫から金融だ、地方の農業に對して低利資金の融通は最も大切である、貴紙の主張せる勸業銀行が設立されて、不動產擔保貸附を爲すは非常に有效なる振興策である、又無視すべからざるは水產業である、將來洵に有望なる事業だと思ふ、去れど今日では漁業は重に資本乏しき漁夫に依て營まれて居る、纏まりたる資本を投じ組織立ちたる經營を成せるは皆無と云つて宜しい、わが馬山の近海で年々獲れるイリコばかりでも百五十萬圓に上る、これが現在では全く漁夫が一個々々の經營だが餘り多く獲るれば販路に困り、不漁なれば食に窮するといふ狀態なのだ、若し此の方面に低利の資金を入れて漁獲物を蒐め都合好く販賣せば一方漁獲物を殖し他方價格を維持することが出來て此の方面の發達を促がすことになるであらう、尚馬山の附近には銅其他の鑛物が澤山にある、然るに現に採掘に從事せる者は極めて少數だ、之れも畢竟資本欠乏の爲めである、故に低利の資本を入れたならば鑛產物も追々に出るであらう、此の外心づきたるものを一々擧ぐれば際限が無い、產業振興上の急務中の急務は先づ右の如きものであらう。

●東拓移民身元調查

殖民事業の盛衰は一に移民の良否に繋るを以て東拓會社にては特に愼重の注意を拂ひ目下各府縣知事に對し移住民の身元に就き委細照會中なり尙は移民募集期日及申込時期幷に渡航準備を左の如く定めたり

一、募集期限　每年二月中
一、申込期日　六月末日迄
一、承認期日　八月末迄
一、契約期日　九月末日迄
一、移住期日　翌年二月十五日迄

而して本年は募集期を失したるを以て移住の準備十分なるもののみ採用し忠南、慶南、全北、黃海の各道に約二百五十名を收容する見込なりと

●軍人恩賜金の交附

朝鮮軍人に對する恩賜金は十日午前十時龍山軍司令部に於て榊原參謀長之を交附し朝鮮軍人總代として軍司令部附參將李熙斗、步兵隊長正領王瑜楨、騎兵隊長正尉金敎先出頭受領したり

●小原男爵の出發期　[illegible]の思召に依り朝鮮貴族授爵式に參列の爲め來京したる宗秩寮[illegible]小原男爵は十一日午後十時四十分南大門發列車にて歸京する由

●露國大使館附武官　露國大使館附武官侯爵ウオリニエフスキー氏は十日新義州列車にて入京せり

●農商工部の廳舍　農商工部に於ては從來別館に在りたる山林、水產、鑛業の各課を十日より本廳內に移すことゝなり各課共移轉したるが從つて室の異同もあり混雜を極めたれど十一日よりは平生の如く執務するを得べしと

●梅田少佐の歸任　臨時大邱派遣隊副官少佐梅田岩樹氏は事務打合の爲軍司令部へ出張中の處九日夜行にて歸任

●三鐵道技師入京　朝鮮鐵道局岡村技師夫妻及び鐵道院技師渡邊石川の兩氏は十日京釜線列車にて入京したり

●木部領事の入京　木部安東縣領事は十日夜京義線列車にて入京したり

●小林重氏の出發　元漢城財務監督局長の同氏は十一日夜行列車にて歸東

●堀工務課長入京　滿鐵の堀工務課長は十日夜新義州より入京したりと

●國民新報の廢刊　一進會の機關たりし國民新報は十一日限廢刊すべし

公人私人

▲橫山孫一郎　入京中の處十日歸東
▲長田義彥（專賣局主任）九日入京
▲川上常郞（平北長官）八日赴任
▲朴重陽（忠南長官）同上
▲塚本與三次（第百銀行重役）九日大邱
▲柔村常之助（大和新聞記者）九日入京
▲野田英夫　山梨日々社長　同上

▲京城手形交換高▼

十月	金高	枚數
十日	九三、三七五、九三	三九一

寄書

德富氏と記者團

なにがし

今度京城日報の監督となられた德富猪一郎氏は過日ソンタクホテルに於て披露の宴を張つた、當日招待を受けた京城記者團に欠席者が大分あつた、ソレノミならず記者團は此際德富氏の歡迎會を全然開かぬ事にキメたソウだ、右は一体何の爲だろうか。

世人記者團を非難して曰く從來京城記者團は本山大每社長を始め記者と名の附く人にして當地へ來れば必ず歡迎會を開いて居る、而るに今度の德富氏に限つてナゼ歡迎會を開かぬかと。

思ふに世人として記者團を非難するも尤の事だ、併し此非難は全く事情を知らぬからするのだ、素より大事件ではないが左に事の顚末を記サウ。

九月十六日德富蘇峯氏が當地に乘込むや京城記者團は直ちに歡迎の準備をした、歡迎の事、素と國民新聞特派員熊谷氏より出て熊本出身の某氏を通じて記者團の重なる者へ交涉せられたのであつた、重なる者等は蘇峯先輩に對するの禮として發起者たることを快諾した、で歡迎會の準備萬端を調へた、數日を經て發起者に向かつて某氏より德富先生は記者團の歡迎會を拒絕すとの通知が來た、發起者は何が何やら判らなかつた、で異句同音に先覺と云ふ者の偉らき事を稱へてソレ切に終つたソレから後の事である、德富氏が披露會をヤツた、記者團の重なるのも出席した、蘇峯門下の人々が蘇峯歡迎會の謎をカケル、記者團の重なるものが此謎を解かぬ、で今日に至つてゐる。德富氏に對する記者團の今の仕打は國氏が記者團の歡迎を拒絕するの無禮を敢てせしより起つたのである、記者團は田舍者なりと雖も禮は禮として心得てた始めより盡さんとしたのだ、豈に他あらんやである。

▲治外法權▼

京城府民大懇親會は會衆五千人と註せられ未曾有の盛會であつた、會衆一同が山縣政務總監を擁して万歲を唱へたときは北漢山が鳴動した▲記者は會場に入り始めの中は白衣黑帽の割合に少なきを見て朝鮮人の參會者が少ないのだと思つた、而るに實際は參會朝鮮人の多數が何れも斷髮で洋服姿、內地人との區別が容易に附かぬのであつた▲資本金二千萬圓の朝鮮棉花會社が起るソウだが之は是非共物にさしたいものだ、併し企業と云へば直ちに政府の補助金を得ようとするのは面白くない事だ▲今度の觀光團は鐵道當局が世話人だけに一同滿足を得て居るらしい、殊に府民大懇親會へ招かれ、總督から遠來の勞を慰せられたのは一同の光榮だと滿足して居るソウだ▲總督と云へば寺內將軍は過日三浦前理事官に男兒が生れたとき、名附親となつて正毅の一字をとり毅と命名された、將軍曰く毅は私しの兒も同じだされば、彼れの生立は私しが見てやろうと、武將慈心あり、新附の民喜んで懷くべしか▲ホルトガルの革命は血を流さずして濟んだ、王が倒れて大統領が出來た、併し此政變が歐洲政界にドレ程の波動を及ぼすか▲浮佻なるラテン民族は革命がパンよりも好きだ、併し今度の革命はホルトガルにパンが欠乏せるより起たのだ、貧乏すると兎角國がモメる▲同業鎭南浦新報曰く今後京新の責任は重萬鈞を加ふと、本紙微力重任に堪ゆるや否やを知らず只だ世人の同情に侯つて氣息を通ずるのみ。

●平北の金礦と民集

[illegible]檢疫をなし防疫に從事せしめ居れり[illegible]礦地として世に知らるゝや各地より移住する者多く[illegible]百五十餘戶を算せらる[illegible]等は許可の一日も早からん事を期待し[illegible]家屋の新築又は其の經營に從事し居り[illegible]金礦及商業等の[illegible]其の他勞働者の出[illegible]大發展を見るべしと云ふ

▲仁川米豆取引所▼

[illegible]

九錢八錢七錢八錢七錢　▲出來高五千百石

▲大阪期米電報▼

[illegible]

▲京龍兩驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客　九日の分如左　乘車客 [illegible]　下車客 七八二

▲龍山驛の乘降客　九日の分如左　乘車客 二三四　下車客 一九七　乘車賃金 二四五、三一

▲仁川港の出入船舶▼

▲福州丸　十一日大阪より入港
▲安東丸　十一日長崎より入港
▲[illegible]　十一日正午安東縣へ出港

府民大懇親會雜觀

子觀

豫定の如く府民大懇親會は九日午後二時より景福宮內[illegible]門外隆文堂前の廣場で開催せられた、前日の朝は雨[illegible]たゞならぬのに[illegible]るも拙當日定刻前[illegible]りの好天氣少し寒[illegible]會場さして繰り込[illegible]上なるも聊か委げ[illegible]子が牛に曳かれて[illegible]場に突き込まれた[illegible]模擬店に人が蝟集[illegible]つた、省て少々[illegible]の園遊ゴロの摸擬店荒し、式の濟む[illegible]したと云ふのは例[illegible]者とでも見られは[illegible]からである、兎も[illegible]前へ參着披露の格[illegible]居や妓生、藝妓の踊[illegible]れ寸乘り込む、石階下に立ちて見上げると貴賓連が一齊に瞰下して呉れられる此れで我輩の來たと云ふ念も屆いた譯だと安心して隆文堂の傍より其の背後の高地に登つて下を見ると貴賓連の休憩所たる隆文堂は脚下に見へる勿体ない如な氣がしたので急いで降ると〇〇子が如何ですと來る、ヤア如何しましたと要領を得ぬことを云ふ、れ急しいでしようと云ふエー貧乏暇なしで月並でれ茶を濁す隆文堂側では軍樂隊の演奏が盛んであるが聽人は存外ない其の僻隣りの朝鮮料理はハツンで居る、一曲聽いて拙者も朝鮮料理へ割り込む、髭を蓄へ中山の帽を冠つた美丈夫が茶碗を差し附けて之れは度支部で試醸しました藥酒です一杯如何と來た拙者元來藥酒は大好物引き受けて飲んだが下物は大きな皿ばかり生れは丹波の篠山ながら親の因果か產れついての鱷持ち此れにはトント閉口して同じ棟の別室を覗くと神仙炉の湯ばかり殘つた奴に下人の多くが群つて居る、黃色の徽章を襟にした二人の若い衆が大に醉ふて隆文堂から降りて御座る、靑木堂寄附の綱渡りに列んで朝鮮古代の音樂が賑かなことだ何か食べて見る氣になつたので薩摩汁から汁粉店、そばうどん、ビーアホール、朝鮮料理と軒別覗いて見たが手の出すべきものがないテーブル掛けが酒や汁に濡れて居る斗りだ、夫れでも腹の蟲が何物とか要求するので再び隆文堂の後丘に登つて碧華堂に初めて朝鮮料理を口にし得た、併自鮮人の數は略內地人の夫れと同數程であつたと思ふ、夫れが三々伍々打ち伴れて雛壇する樣は又なく頼もしく見られた、當日は會場では入場券を交付せぬと云ふ規則の如に承知して居たが秋成門外で現金引き換へに買つて御座つたが斯くと一般に知れる如取計らはれたなら一万以上の入場者を見ることが出來たらうに併しそれが知られなかつたにも拘はらず五千四百名以上の來會者を見たのはマア成功と云ふべきだ、倘ほ當日は婦人方の參會も多い樣に聞いて居たが實際堅氣の婦人の數は指を屈る程もなかつた甚だ物足らず感せられた、序だから申すが懇親會や園遊會の委員とか幹事とかは異つた徽章に普通會員を見ること出入の者の如く貴賓の側にのみコビリ附くのか普通であるのに當日の委員方は普通會員の接待に努力せられて居たかの如に見受けた、

不親切な府技手

▽批難多き土木課員

南大門通り下水修築工事に從事せりし石工高橋某なるものが漢城府よりの下渡金三百圓餘を拐帶逃亡したるが爲め從業者たる日、鮮、淸人々夫石工は懇ふに所なく困窮し居る旨投書ありたり其の全文に曰く

一筆申上ます私共は實に馬鹿にされました左の事を聞てどうか惡人を叱て下さい私共は今更仕方はありません實に殘念です其事は他でもありません私共は先月漢城府の直營で人夫又は石工として南大門通に使役されて居りましたが去る月の二十九日迄に石垣や荖石のする付等を致しましたが其賃金が百五十圓の餘になつて居りました然るに廿九日には半分出來たものを官の都合で全部出來た積で金を下げると云ふので三百圓を石工の高橋と云ふのに去る二十九日に御渡しになりましたら其高橋が持逃げを致しました故我々共は冬は仕事がありませんから今の內にと働きましたとが水となりますし故直に其二十九日の晩に警察へ訴まして取押を願ひました故警察では尤の事故直に手配はするが其段の事を漢城府の土木の人に頼んで事實を證明して來ひとの仰でありし故喜んで漢城府の主任の佐藤さんに願ひましたらそんな事をしては當方の失態を世間にさらす樣な事であるから出來ないなぜ高橋に委任をしたか汝等が惡ひと申さる、故私共は何も高橋に委任はしません汝か勝手に御渡になりしものですと申せしに當方には汝等の委任が來て居ると申されました私共は夫は高橋の僞り委任です故早く證明をして下さいそうすれば警察で高橋をさがして下さいますからと申上ても知らんと云ふて少しも取上てくれません故遂に今日迄高橋もさがすとも出來なくなりました日本人石工と云ひ支那人石工も朝鮮人も皆泣て居ります實に殘念で手のつけようもありませんどうか私共を哀れと思召してこんな不親切な人を叱つて下さい願ます虛か本統かは警察なり又は鬼頭兼次郞と云ふ請負人にも聞て下さい實に鬼のような人です

新聞社樣　石工共

元來此の佐藤なる人は大漢門前通の同工事にも兎角の批難ありたる者なれば當局者に於て眞想を取調べられたきものなり

添遂けたさの家出

▽男女とも大切な後取り

大分縣下毛郡尾紀村大字犬丸友松重藏長女カチノ(二〇)は仲々の美人にて二年程前より同村同字の馬場嘉六長男健治(二二)と私通し居りしが双方共後取りの身とて夫婦になる事出來ざるより渡鮮せんと相談し兩人手に手を取つて八月十二日午前八時頃無斷家出したるが途中常々姉妹の如くなし居る同村犬丸平吉二女ナツヱの所に立寄り自分は此れから朝鮮へ行く故二三日經たら兩親へ傳へ呉れとの事にナツヱは非常に驚きしも最早荷物迄先きに出したとの事故止め兼ね其儘出發せしめたり同家に於ては娘の家出したるより所々を搜索したるも行衞知れざるが其後ナツヱの知らせにより渡鮮したる事を知り搜索したるに健治は渡韓前より永登浦驛合宿安立某と音信し居る事を聞き早途龍山憲兵分隊へ向け保護を願出たり同隊に於ては永登浦出張所をして搜査せしめたる所健治は驛員となり先月安陽へ轉勤したりとの事に安陽出張所にて取調べし所兩名は同地にて同棲し居りしよりカチノを九日引連れ龍山憲兵隊に保護中なるが無斷家出する娘も惡いが生木を割く親も粋がきかん

●仁川 各學校運動會

民團立商業學校高等女學校尋常高等小學校及幼稚園の秋季大運動會は豫報の通り昨日午前九時觀測所下の廣場に於て藹然たる煙火を相圖に開會せられたり一昨日よりの雨天にて當日の天候如何あらんと氣を揉みしに幸に一天拭ふが如き快晴となりたれば數日前より指折り數へて待ちに待ちたる老幼男女ヒシ〱と押掛け會場各所には紅白の幕を張り酒肴を携へし見物頗る多くさしもに廣き會場も殆んど人もて埋られ無慮一万餘と注せられたり千三百の男女學生數十番の競技あり終て來賓の競爭ありて一同歡を盡して散會せしは午後四時なりき因に來賓としては大谷判事、淸水檢事其他百餘名にて非常に盛會なりし

●萬引婦人の公判

本町七丁目村上廣造方廣島縣人奥村しを(一九)が本月三日の夜本町四丁目山口呉服店其他圓城呉服店、丸一呉服店等に於て反物類を竊取し南部署に檢擧檢事局に送られし事は本月五日の紙上に少女の萬引と題し既報の如くなるが該事件は昨十日京城裁判所に於て喜頭判事秋場檢事の掛りにて公判開廷ありたり被告辯護人として小川勝平氏出廷被告は犯罪の事實を自白し事實の審問終りて辯論に移りたり秋場檢事は本件は被告の犯罪自白に因り證據充分なれば論する必要なしとて懲役六箇月の求刑あり小川辯護人は之に對し辯論の大要は被告の犯罪は其動機及情狀共に同情す可き迄あり第一被告が本件犯罪の動機は本月一日公州なる實母の許より二十四圓を所持金して來京し當日本町六丁目郵便所前にて金十圓余を掏摸取られ困難に陷入りたるより惡心を起したるものにて又來京の事情に付ても繼父に虐待されしが爲めにて且又同人は目下懷姙七ケ月にして是より入獄せば苦痛に堪へざる狀態に陷入る可く加ふるに改悛の狀あれば減刑に處し執行猶豫の恩典を與へられん事を仰ぐ云々にて辯論終決し言渡は次回開廷日に宣告す可き旨にて閉廷したり

●建部の執行猶豫

岡山縣淺口郡黑崎村四千五百二十番地當時本町五丁目八番戶洋物雜貨商建部喜三郞(二三)及び熊本縣熊本市迎町六十二番地當時羽衣町建部雇人草野文次郞に對する不法監禁罪は七日再審を開き辯論終決して昨日檢事の求刑通り被告草野は懲役五ケ月建部は懲役三ケ月に處せられ各二ケ年の執行猶豫の恩典を與へられしが言渡宣告終るや掛官兩角檢事は懇篤にも檢事室に建部草野を呼び建部は豫て兎角の評あれば將來謹愼せざれば自身の不利益となるべしとて執行猶豫者の心得に付說論されたり

●京城本年の初霜

去る七日南滿州及九州西部に來りて低氣壓通過後は大陸の高氣壓著しく發達して北西風吹き荒み八日長春は氷點下に降り初雪を報じ滿朝共引き續き氣溫劇降し今朝高氣壓は朝鮮內部に入り風力稍衰へるに從ひ氣溫は稍々下降して京城は一度九となり初霜を結べり之れを昨年に比するに五日又平年より二日遲し

●不心得女の歸國

大阪市北安治川三丁目五十二番地中村幸七妹とめ(二三)は九月中無斷家出をなし龍山住鐵道局判任某の妻と知合の仲とて同行渡鮮し髮結を爲さんと思ひしが思はしくなきより龍山南山下町一番戶松葉亭へ酌婦に住込み居りしが間もなく兄幸七より憲兵隊へ向け保護願を出せしに取調の結果三十圓餘の借金ある故歸國し難しと申立つるにぞ此の事申し送りしに兄幸七より電報爲替にて五十圓を送附し來りたれば借金を拂ひ八日朝釜山行列車にて出發せしめりと

●圓平船の覆沒

仁川松坂町木村勝太郞所有の圓平船大部島丸い第廿九號は一昨日午後四時五十分頃當外港に碇泊の滊船巴丸より石炭四十二噸を積み取り入港途中稅關機橋の南方約四百米突の處に於て風波の爲めに轉覆したるを以て稅關所有の第二宮丸船長藤田音吉は現場に出張し續て第一宮丸にて壬生醫務官及柴田關谷の官吏出張し救助に從事せしにぞ幸に人畜船体に異狀なきを以て第二宮丸にて月尾島に通ふ鐵橋左側約二百米突の處迄引船なし同所に繫ぎ救助を與へたり此の損害高二百五十圓內外との事

●惡樓主の公判期

熊本縣玉名郡高瀨町當時吉野町中之新地玉水樓主渡邊鐵藏(三九)が同鄕人寺藤はぎ(二〇)を酌婦に雇入れ惡策に掛け詐欺したる事件は八月二十二日より玉水樓の奸策と題し連揭既報の通りなるが該事件は檢事局に送られ行政處分としては營業禁止を受けしが豫審終決して公判に附せられ來る十四日塚原裁判長兩角檢事の掛りにて公判開廷ある可く被告辯護人として木尾辯護士出廷す可しと

●仁川雜事

仁川花町二丁目十二番の十四居留上田矢衛門同山手町渡會儀一方居留土井又次の兩人は一昨日午後一時頃敷島遊廓裏手の人家接近の場所に於て猥りに發砲したるを以て告發せらる

▲仁川平洞廿四統八戶居住高動玉は一昨日仁川高等小學校の運動會を見物を行き同會場に於て金圓入ロシヤ製皮の金入を拾得屆出

▲敷島一昨夜の遊客は六十七人にして散財高は二百三十圓八十五錢にて近頃珍らしき景氣なり

●不心得な田舍娘

山口縣厚狹郡生田村平民コト二女大田キス(二二)は去る六日午前九時頃男一人女三人と連れ立ち朝鮮には小判の花が咲いてゐると渡航する目的にて同夜下關驛着の所を出張の杉山巡査が取押さ七日朝同村七百八番地高橋四郞といふが身柄を引取りたり

●梨二箱の持逃げ

京畿道交河郡生れ擔軍朴萬順(二二)は六日午後三時頃龍山本町三丁目五番戶永田傳三郞が梨二箱(代四圓)を負せたるに隙に乘じ拐帶し行衞を晦ませしが南部署に逮捕せれ檢事局に送らる

●困つたものなり

山口縣人當府壽町三丁目室田長平(二四)は同町七十番戶米穀商渡邊歸一方に雇れ中店の金十圓を竊取し酒色に費消したる事南部署に探知逮捕され檢事局に送らる

●村上醫院の開業

元統監府技師大韓醫院醫員醫學士村上龍藏氏は今回明治町三丁目林田金次郞別邸を買入れ本月中旬開業一般の診療に從事する筈にて目下病室整理中なりと

●正誤●

謹啓本日の貴紙に御揭載相成候拙者に關する徵兵令違反の記事中小生が第一憲兵分隊中上特務に逮捕せられたるが如く記載あるも之れ全く誤報にて事實は憲兵隊及び區裁判所檢事局の召喚に依り其都度自ら出頭して訊問に應じたる者に付何卒此の文御揭載の上御取消相成度希願仕候敬具

明治四十三年十月九日　京城大和町二丁目五十七番戶　森繁(印)

京城新報社御中

目と耳 (十一日分)

▲壽座　變ること猫の眸の如き同座は代る筈を代らず東操一座の改良講談

▲歌舞伎座　曾我の家一座其他の合同劇狂言は『巳が罪』外喜劇一場

▲浪花館　如雲一座は大喝采の內に五日限り打揚げたるが代りは大阪千歲活動寫眞にして重なる映畫左の如し　關東大洪水慘狀、舊劇安達原三段目、萩袖祭文の場淨瑠璃入、伊勢大廟宇治橋渡橋式の盛典、二見浦日の出光景、此他餘興數十種(二十錢均一)

▲露國大曲馬　明治町東拓敷地假小屋に於ける露國人『パローフスキー』一座の大曲馬每夜七時より開場

今日の運勢

十月十一日 舊九月八日 六白 佛滅 巳 酉閉 △一白 幸運日なり大凡吉無心懸願にあふあらんとす遺失防ぐべし△二黑●旅行婚姻談相談委囑見合せの事其他吉△三碧●新事調査探險設計謀議●見合せの事負傷及衞生注意すべし△四綠●金品授受貸借●取引故障多●爭論不和防ぐべし△五黃●共同組合婚姻連盟旅行見合せの事親疎の者より損害に遭ひ易し△六白●紛爭故障多き日とす賣買貸借證劵印章の事尤も注意遺失防ぐべし△七赤●安言誹謗に罹り易き日とす取引賣買貸借見込外れならん△八白●從者子孫の事煩累あり交際上怒情を挑發さるゝ事あり△九紫●人のため世話事ある日なり盜害遺失防ぐべし新事目合せの事(本町五丁目三一館判斷)

●天氣豫報(自十日午後六時至十一日午後六時)

北西風晴

九日(華氏)　最高溫度 五六、一　最低溫度 四四、四

▲仁川米豆取引所▼

[illegible]七錢▲二節八圓七十九錢▲三節七十[illegible]錢三錢二錢 錢八錢九錢八錢[illegible]九錢八錢七錢八錢七錢▲出來高五千百石 二十五錢▲十一月限寄 十九錢▲十二月寄[illegible]十九

▲南龍兩驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客 九日の分如左 [illegible]

▲南大門荷物扱高 九日の分如左 發送 二二屯 到着 二三四屯 發送賃金 四〇七、七二

▲龍山驛の乘降客 九日の分如左 乘車客 二三四 下車客 一九七 [illegible]乘車賃金 二四五、三一 [illegible] 賃金 一六、七一 到着 一五三噸 [illegible]

▲仁川港の出入船舶▼

▲福州丸 十一日大阪より入港

▲安東丸 十一日長崎より入港

▲福州丸 十一日正午安東縣へ出帆

▲[illegible]

●京釜列車の檢疫

去る七日より釜山三浪津驛間に醫師一名巡査補一名を乘車せしめ乘客に對し[illegible]檢疫をなし防疫に從事せしめ居れり

●平北の金礦ご民集

[illegible]間の僻地として數十の民家は各所に散在し落莫たる寒村なりしが近時〻度金[illegible]下百數十万坪の採掘許可[illegible]等は許可の一日も早からん事を期待し[illegible]礦地として一世に知らるゝや各地より移住する者多く[illegible]家屋の新築又は其の經營に從事し居[illegible]採掘着手の日に至らば同地方一般に一大發展を見るべしと云ふ

婦人良藥
病んで知る健康の價値
弱き婦人中將湯召して夙く健康に回へられよ
中將湯
本舗 津村順天堂
効能
子宮血の道　子宮内膜炎　逆上頭痛　腰足冷込　下腹痛み　産前産後　難産流産　月經不順　月經痛み　こしけ　胎児差込　氣ふさぎ

代理店　京城　新井藥房

一鴨綠江松材現木
長サ八尺五寸以上二間半
一尺五寸角以上二尺迄
右木材多數所有致し居候に付特別安價に賣却仕候間御望の方は御來談被下度願上候
京城旭町三丁目（電話五六八番）
建築業　柴田芝之六

表具部開業
襖額屏風天井壁張及表裝一切並書畫の需用に應す
旭町三丁目三日月湯隣
柴田表具部
主任　網島久雄
眞光小太郎
（電話五六八）

東京名物　京都ふくろみ　東京しもぜん
京城壽町　きくばあん

入院隨意
京城壽町三丁目（電話三七八番）
中島醫院
院主醫學得業士　中島貞信

本町一丁目元藤隈旅館は當方所有の家屋にして同旅館に貸與致し居候處今回主人歸國に就き全然當方に引取り本田旅館と改稱し一部を改築し室内の裝飾を新たにし專ら衛生を旨として諸般の設備を改善仕り且つ親切と丁寧とを生命として營業可仕候御案内の如く當旅館の位置は京城府尹警察署郵便局民團役所及新築韓國銀行等に接近し停車場への道程も近く左は本町大通り右は電車の通路を控へ交通の便は市内第一等に位し且つ頗る閑靜なるが上空氣の流通も至つて宜敷く蓋し旅館として間然する處無之と窃かに自負し居候何卒四方の御客樣以前に倍し御引立の程奉願候
京城本町一丁目元理事廳前（藤隈旅館跡）
本田旅館
電話一〇六番

毛織物直輸入並に洋服調進
京城本町一丁目
商　本田羅紗店
長電話百〇六番
電略（ホン）又は（本）

義齒全般
龍山大島町
加藤民重郎

京城光化門通
淺田洋服店
店主　大島專藏
（電話四百十三番）

總督府御制服調進
弊店は鮮土に於ける洋服業の開祖として將又卒先者として斯道の獎勵に努め汲々營々爰に十七年の星霜を閲するに至り弊店の調製服に對して世既に定評あり就中御制服は弊店の最も得意とする所諸官衙を始め殊に韓皇陛下時代より今日の李王殿下御一族の御用は依然として特定せられ居り弊店の光榮と致す所に御座候猶て英國に注文致置候制服地等今回多數到着仕候に付誠意熱心に御調製可仕候に付何卒御用命の程奉希上候　敬白
朝鮮各殿下諸官衙御用
京城光化門通
淺田洋服店
大島專藏
電話長四二一
平壤大和町
淺田洋服店出張所
電話長四一三

義齒術全般
京城水樂町一丁目
永田正一
電話一四三二番

弊館には夜警の設備あり
御客樣の安全此の上なし
陸軍指定旅館
鐵道院指定旅館
仁川水産組合指定旅館
第一各保險會社指定旅館
京城本町
旭屋旅館
電話二五一

英國
ニユージーランド（火災海上）保險株式會社
創立　西暦紀元千八百五十九年（邦暦安政六年）
資本金　一千五百万圓也
準備積立金　四百四十五萬圓也
支拂保險額　七千五百三十二萬圓也
日本に於ける放資金　日本帝國五歩利付公債十萬圓也
日本及滿洲總支店　横濱市山下町百六十七番
支店　東京、神戸、大阪
朝鮮代理店
京城水樂町二丁目十六番邸
東京藤原商店京城支店
電話一八九番

新案
和洋小物各種
（九）たびもた
堅牢で廉價な山まゆ織
京城本町一丁目　（九）
菜原商店
電話四八三番
（九）出張店
京城本町五丁目泰和館入口角

貨物運送取扱
關税貨物取扱
危險擔保附運送品代金付貨物運送貨物引換證發行
E 通 E
內國通運株式會社
京城南大門驛前　京城支店　電話七〇八番　一七九番
仁川驛前　仁川出張所　電話五一一番
草梁驛前　釜山出張所　釜山驛前電話六二六番　草梁驛前電話五三七番
龍山驛構内　龍山出張所　電話二〇六番

ゴールドシール印
コンデンスミルク
全國到る處の洋酒食料品店藥舗に販賣せり
米國紐育市ボーデン煉乳會社

營業科目
和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐デシン
穀物食鹽
諸勤料類
發賣元
藤田合名會社
本社　京城明治町二丁目（電話二三〇番）
出張所　東京京橋區南鍋町一丁目（電話新橋三六九二）

發賣廣告
朝鮮總督府專賣局開城蔘政課御製造
糖蔘（人蔘砂糖漬）
高麗蔘の靈劑たるは既に確認せらるる所今般蔘政局にて精製せられたる糖蔘は是れを砂糖漬にしたるものにて永遠腐敗變味等の恐もなく老幼一般の咀嚼に適する珍重なる滋養菓に有之殊に容包裝共に優美高尚にて御土産御見舞品には最も適當のものに御座候今回弊店許可を受け弘く發賣仕候間幸に御賜顧御用命の程奉願上候
發賣元
朝鮮京城本町三丁目
合名會社　明治屋京城支店
電話　壹七貳　壹貳貳番
各地賣藥店並に雜貨店に有り最寄にて御求を乞ふ

新荷着
酒精アルコール
仁川花町一丁目（電話六五〇番）（電略サ）
坂倉支店

清酒　正宗　釀造元　正則
上酒　小賣壹升に付三十錢
卸賣は特別割引可仕候
清酒　美淋　燒酎　並に日用食料品雜貨類
京城壽町三丁目
釀造元　中井酒造場販賣部
電話百七十七番
電話にて御注文の際は一升以上は店員をして速達致さすべく候

齒科　治療
本町六丁目（蕎そば横町）
ドクトル　中村安子
女子見習募集委細面談
（電話一五八三）

眼科專門
京城本町六丁目（別府溫泉横手）
前大韓醫院眼科主任帝國大學選科卒業
金井眼科醫院
金井豐七
（電話一五五六番）
診察時間
午前八時より午後六時迄
午後二時より午後六時迄

專門　一般外科
診察時間（毎日）正午迄
（月、水、金午後四時より七時迄）
（毎日曜日及大祭日）
休日
場所
旭町一丁目六十七番戸（日ノ出湯裏）（電話六九一）
院長　前大韓醫院外科主任
鈴木外科醫院
鈴木謙之助

眼界目藥
學大目藥
●かれこれと迷ふこと勿れ完全無缺の大學目藥あり
大學目藥は帝國醫科大學病院の處方に基きし貴重の製劑にして●流行目●トラホーム●星目●ほせ目●かすみ目●血目●疲目其他眼病一切に可驚奇效あり
商標
發行所
大阪市北濱一丁目
ヘブリン丸元祖　參天堂藥房

ハカリ印
大阪田口の
かぜねつの最良藥
ヘブリン丸
參天堂藥房
京城南大門通
新井藥房
電話一〇六八
振替口座韓國十九〇四十六

諸建築請負業
ペンキ塗
永樂町二丁目
渡部正美
（電話一〇二八）

入院隨意
內外科
小兒科
梅毒淋病
京城壽町三丁目
高井醫院
院長　陸軍軍醫正　高井貞治
電話（二一六）

芙江　公州
間出帆廣告
芙江發　毎日後一時（京城方面ヨリ急行接續）
公州發　毎日前七時（京城方面行急行接續）
御用向ノ御方ハ（京城仁川鳥致院芙江公州）中條店ヘ御尋被下度候
（荷客共御取扱可申候）

瀛船出港廣告
月串、瓮洞、海州行
天草丸
安來丸
成歡丸
隔日出港
仁川港海岸通（電話四一九）
柴田回漕店